

大学コンソーシアム富山 令和 8 年度地域課題解決事業申請書

(**新規** ・ 継続)

自治体等名	砺波市	担当者	所属 商工観光課 氏名 主幹 織田 武男 TEL 0763-33-1397 E-mail takeo.oda@city.tonami.lg.jp		
地域課題名	となみチューリップフェア経済効果	事業費	上限 100 万円		
地域課題の背景	となみチューリップフェアは、昭和 27 年から開催され、令和 7 年(2025 年)で第 74 回を迎える国内有数の花の祭典です。来場者数は年によって変動はあるものの、令和 6 年には延べ約 33 万人を超える来場があり、観光誘客や地域経済に対して一定の効果を生んでいると考えられています。 しかしながら、これまでの開催において、主催者側で独自に経済波及効果を概算したことはあるものの、学術的知見に基づいた正式な試算・分析はなされておらず、政策判断や施策の立案において、根拠となる定量的データが不足している状況です。				
課題の概要	((1)課題＝解決したい問題の説明、(2)その課題解決において自治体が行うこと、(3)高等教育機関に求めたいこと、<u>についてできるだけ具体的に記入願います</u>) (1) となみチューリップフェアの学術的知見を踏まえた経済波及効果の算定 (2) 結果を踏まえた更なる効果的な経済対策の実施 (3) となみチューリップフェア開催における経済効果の試算				
事業実施に当たっての協働体制	【自治体等の役割】 過去・現在の来場者数、運営経費、来訪者属性等に関するデータの提供 経済波及の仮試算における協力および地域関係機関への調整 となみチューリップフェア開催にかかる基礎情報の提供 【高等教育機関の役割】 地域産業連関表を活用した、経済波及効果の学術的な算出(富山県・砺波市スコープ) 雇用誘発・付加価値・税収効果など、波及の多角的な側面の明示 結果を踏まえた「地域経済への貢献度の可視化」と「さらなる高付加価値化への提言」 フェア以外の地域資源と連動した波及効果の波及構造の検討(中長期的な提案も歓迎)				
成果の活用方法	分析結果に基づいた実効的な観光振興策や経済施策への活用 令和 8 年度中策定予定の「第 4 次観光振興戦略プラン」への反映				

【作成上の注意】

- 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。
(自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。)
- 課題に関する詳細資料(秘密事項は除く)がある場合は、添付願います。
- 課題が複数ある場合は、別様に記載願います。
- 申請書は 1 ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。